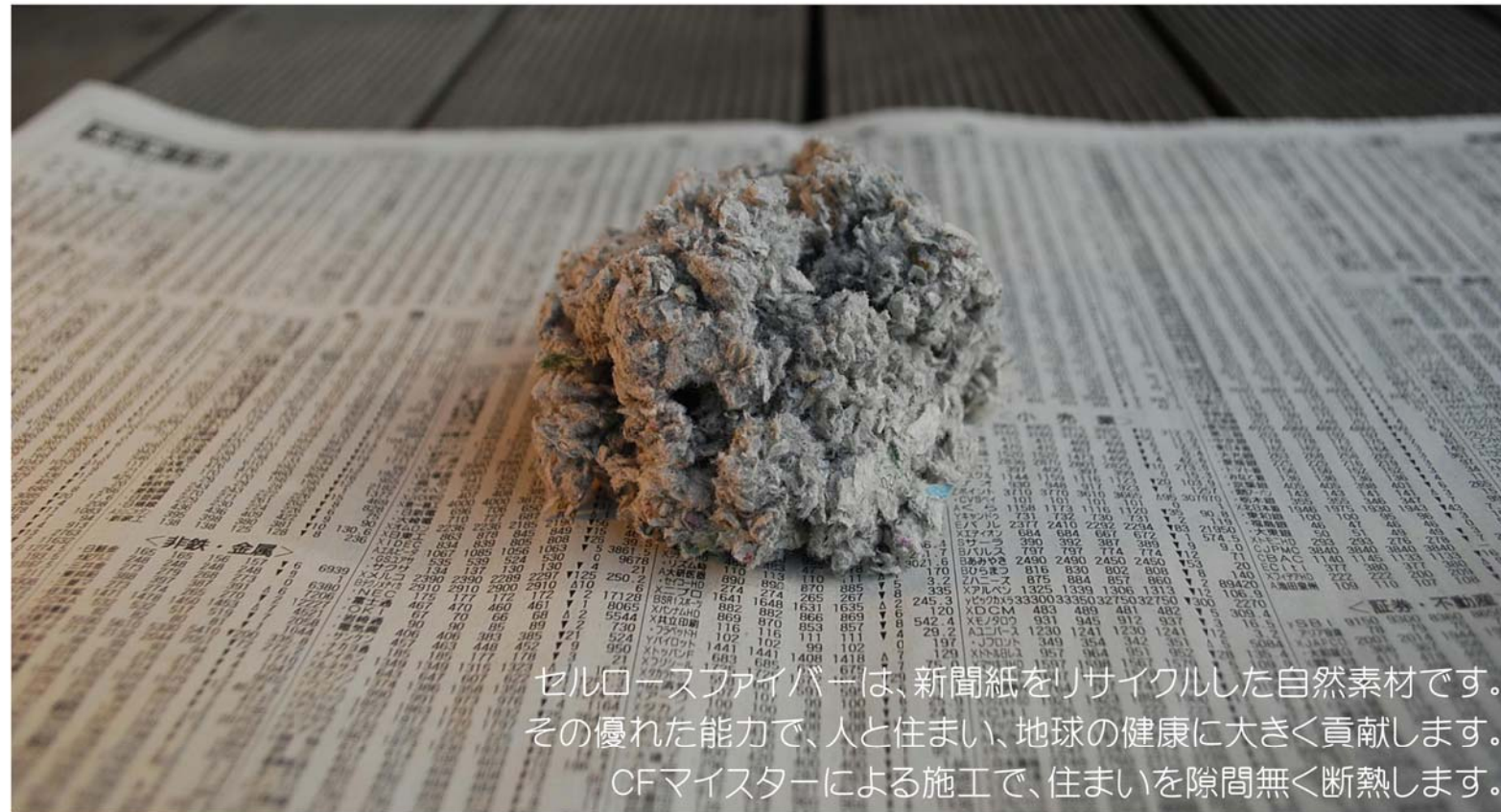


セルロースファイバー断熱材

リサイクル新聞紙を原料とした、一番エコな断熱材。



セルロースファイバーは、新聞紙をリサイクルした自然素材です。その優れた能力で、人と住まい、地球の健康に大きく貢献します。CFマイスターによる施工で、住まいを隙間無く断熱します。

セルロースファイバーの特徴

- CFマイスターの施工による、優れた断熱性能
- 紙や木と同様の木質繊維による、優れた調湿性能
- ホウ酸、ホウ砂による、優れた難燃性能と防蟻性能
- 繊維の吸音効果による、優れた防音性能
- リサイクル新聞紙を原料とする、優れた環境性能

01 断熱性能

冬暖かく、夏涼しい快適な住まい
冷暖房費の削減で家計に優しい
高齢者のヒートショックを防止

03 難燃性能

自己消火機能で、延焼を防止する
ガスを出したり、溶けたりしない

05 防蟻性能

シロアリが食べない、寄らない
効果は半永久

06 環境性能

少ない製造エネルギー
冷暖房エネルギー削減

02 調湿性能

夏の蒸し暑さを和らぐ
冬は適度な加湿で過乾燥を防止
壁や屋根内部の結露を防止

04 防音性能

外の騒音を低減する
ホームシアター、ピアノルーム



日本の気候に最適な住まい

古来の日本の住まいは、四季と共に暮らすように、木と土壁で造られてきました。大きな開口部からの風通しと、土壁の調湿効果により、まるで、家全体が自然呼吸をしているようでした。

そのおかげで、夏は涼しく快適で、また、100年を超える耐久性を実現していました。現在では、冬の寒さを克服するために高断熱住宅が主流となり、季節を問わず快適な住まいとなっています。

しかし、日本の気候を考慮しない断熱化は、住まいを病気にする危険を伴います。壁や屋根の中で結露水が発生し、土台や柱を腐らせることがあるのです。私たちのセルロースファイバーの家は、内部結露の防止に自信があります。理由は、簡単です。

空気中の湿気が冷やされて水に変身する前に、外部に逃がしてしまうからです。これは、障子紙に結露水が付かないことと同じ原理です。

また、局所的に冷えた部分には湿気が集まり、結露の危険が高まります。

CFマイスターによる隙間の無い均一な施工は、局所的な弱点をつくりません。

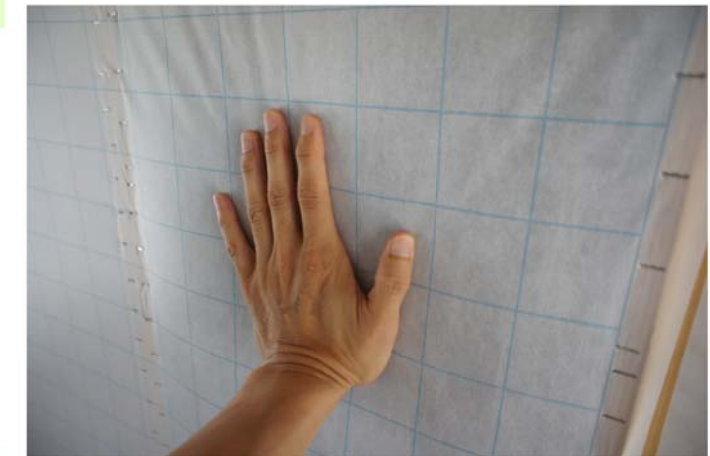
セルロースファイバーは、日本の気候に適した、快適で長持ちな住まいを実現します。

CFマイスターによる確かな施工

CFマイスターは、セルロースファイバー（CF）を専門に施工する技能者です。

柱の室内側に専用のシートを貼った後、柱の厚み分、乾いたCFを目一杯吹きこみます。施工完了後は、少しかための布団のように、壁がフカフカになります。

筋交いや建築金物がある部分も、隙間無く、しっかりと断熱施工します。



地産でエコ&安心



地産eco断熱工場からお届けします。私たちのこだわりは、地域の新聞紙を原料とすること。軽くてかさばる断熱材の輸送は、空気を運ぶようなもので効率が悪く、長距離輸送には、多くのCO2が排出されます。また、長距離輸送の費用が、建築コストに上乗せされます。原料の新聞紙は、地域にあります。地産eco工場で高品質のCFを製造し、住まいの現場に直接お届けします。

